山形大学校友会専門委員会(第14回)議事録

平成26年1月28日(火) 15時00分~16時30分 山形大学事務局3階役員会議室

(議題)

- 1 校友会表彰制度の創設について
- 2 平成25年度事業の進捗状況について
- 3 平成26年度事業について
- 4 その他
 - (1) 小白川―飯田間通学用シャトルバスの運行について
 - (2) 第2回各同窓会東京支部との情報交換会について
 - (3) 平成25年度山形大学OB・OGセミナーについて

出席者

副委員長 阿部宏慈

委員 丹野憲昭、佐藤和佳子、小山清人、神戸士郎、岩城功希

欠席者

委員長 酒井順一

列席者

EM部長、政策課長、政策課副課長、校友会事務局長、校友会事務局次長

議事に先立ち、事務局より、本日、酒井委員長は風邪で欠席のため、専門委員会規程第5条3項に基づき阿部副委員長に議事進行をお願いしたい旨、報告があった。

次いで、阿部副委員長から、本委員会の役割等について説明があった。

- 1 校友会表彰制度の創設について
 - 事務局から、これまでの対応状況等について、資料1-1、資料1-2及び資料1-3に基づき、次のような説明があった。
 - ① 表彰制度を創設することについては、すべての学部が賛成であった。
 - ② 「試案」に対する学部の意見として、表彰の基準を「学会等からの賞又は科研費の 採択等」にすると、研究科が限定されるのではないか。また、科研費等だけでは不 十分である旨出されている。
 - ③ 本学にある既存の表彰制度との共存は可能である。 (同じ学生が何度表彰されても問題ない。)
 - ④ 各学部からの意見等を踏まえ、大学院学生の研究意欲の向上等を目的に「校友会大

学院学生表彰制度に関する申し合わせ(案)」(資料1-1)を取りまとめた。

次いで、本件について質疑応答があり、主な内容は次のとおり。

(○:質問、◎:回答)

- ○制度を創設した場合、表彰に該当する人数と予算との関わりはどうか。
- ◎科研費(特別研究奨励費)に採択される大学院学生(博士課程)が、毎年 10 人前後はおり、本制度に該当する。予算は、所要額を事業費として計上することになる。
- ○科研費の採択は理解できるが、論文の掲載等顕著な業績は、どのように判断を行 うのか。
- ◎表彰者の決定は、本専門委員会で審議していただくことになる。

質疑応答の後、副委員長から、資料1-1「学生表彰制度に関する申し合わせ(案)」 を、2月14日(金)開催の理事会へ提案したい旨の発言があり、了承された。

2 平成25年度事業の進捗状況について

事務局から、資料 2-1 及び資料 2-2 に基づき、平成 2 5 年度採択事業(2 0 件)の進捗状況及び資料 2-3 に基づき、平成 2 5 年度収支決算見込みについてそれぞれ説明があった。

次いで、本件について質疑応答があり、主な内容は次のとおり。

(○:質問、◎:回答)

- ○新入生への記念品は、当初からの計画にあったのか。
- ◎当初、計画はしていなかったが、新入生にも校友会を広く周知を図る観点から、「予備費」からの支出としてお願いしたい。

種々意見交換の後、副委員長から、これから実施する事業もあるが、それぞれの事業は概ね順調に進んでいると考えている旨述べられた。なお、本件については、2月14日(金)開催の理事会で報告したい旨の説明があった。

3 平成26年度事業について

副委員長から、本件は2月14日(金)開催の理事会で審議することとなるが、平成25年度の進め方を踏まえ、本委員会として検討したい旨説明があった。

次いで、事務局から、資料 3-1、資料 3-2 及び資料 3-3 に基づき、今年度の検討経過等について説明があった後、資料 3-4 及び資料 3-5 に基づき、平成 26 年度の予算概要(イメージ)及び平成 26 年度事業計画書(様式案)について説明があった。

主な説明は次のとおりである。

・平成25年度収支決算見込み(資料2-3)を踏まえ、平成26年度予算概要(イメージ)を作成した。

- ・事業費については、本年度の予算額と同程度(20,000 千円)を計上し、運営費については、本年度の決算見込みを考慮した。
- ・平成26年度事業計画書については前年度と同様の様式とし、提出期限を本年3月 31日としたい。

質疑応答の後、副委員長から、平成26年度事業申請の手続きや事業決定までの手順は、基本的に平成25年度を踏襲することとしたい旨の説明があり、了承された。

次いで、副委員長から、継続事業については、平成26年4月から速やかに執行できるよう、年度内に決定したいので、平成26年度継続事業を、本委員会において決定したい旨発言の後、事務局から資料3-6に基づき説明があった。

主な説明は次のとおりである。

- ・5年を経過しない事業で、かつ、今年度の実施状況等を考慮して、提案の15事業 を継続事業としたい。
- ・継続事業全体では16,000千円程度となり、新規事業として確保できる予算の規模は4,000千円となる。
- ・5年を経過した事業(2件)で、改めて申請があった場合には、その期間の実施状況等を検証し、新規事業の中で検討することになる。

副委員長から、平成26年度における継続事業について諮られた結果、原案どおり了 承された。

なお、所要額については、今後の執行残や実施後の効果等を、次回の本委員会で検討 し、できるだけ予算の縮減を図っていきたい旨、述べられた。

4 その他

- (1) 小白川一飯田キャンパス間の通学用シャトルバスの運行について 事務局から次のとおり説明があった。
- ① 本件は、前回の理事会(H25.6. 11 開催)で「大学として運行の可能性を検討すること。」になっており、今回、医学部から要望書(資料 4-1)の提出があったものである。
- ② 今後の対応について、医学部、小白川事務部及びEM部で事務的に検討を行った結果、「医学部には公共交通が運行しており、小白川キャンパスの状況とは異なる」「早朝からの運行は、本当に必要か」等、様々な意見があり、現在、運行している小白川キャンパスのバス利用も含め、医学部としての考えを整理して、改めて検討することとした。

次いで、本件について、次のような発言があった。

- ○金額的にも過大(事業費の2割強)の要求となっており、1つの部局の学生のため に校友会として措置するのは難しいのではないか。(岩城委員)
- (2) 第2回各同窓会東京(関東)支部との情報交換会について 事務局から次のとおり説明があった。

- ① 関東地区の同窓会各支部と校友会との情報交換会を、平成25年12月21日 (土)に本学東京サテライトで開催した。
- ② 当日は、各同窓会から18名の役員各位に参加いただき、首都圏での連携協力を 更に推進するため「山形大学同窓会・校友会首都圏ネットワーク」が設立され、 会長には岩城功希氏(校友会理事)を選出した。
- ③ 当面の事業としては、「山形大学OB・OGセミナー」への協力などを考えている。

次いで、本件について、次のような発言があった。

- ○4~5年前から首都圏の各同窓会で検討してきたが、このたび関係者の理解を得て設立することができた。今後、少しずつ活動を充実して行きたい。(岩城委員)
- ○医学部の同窓会は参加していないが、今後、東京で卒業生(看護学科)の集まり も予定されているので、この「ネットワーク」をぜひ紹介したい。(佐藤委員)
- (3) 平成25年度山形大学OB・OGセミナーの開催について 事務局から次のとおり説明があった。
 - ① 今年度の「山形大学OB・OGセミナー」は、本年3月1日(土)に本学東京サテライトで開催する。
 - ② 昨年度より本セミナーは、東京サテライトと校友会との共同で開催しており、今年度は、先に説明した「首都圏ネットワーク」の皆様にもご協力をいただきながら準備を進めている。
 - ③ 校友会からは、会長(学長)、小山理事、酒井副会長、阿部副会長が出席するほか、校友会事務局が当日の対応を行うこととしている。

[配付資料]

- 資料 1-1 校友会大学院学生表彰に関する申し合わせ(案)
- 資料 1-2 大学院学生表彰制度に関する調査・回答(集計)
- 資料 1-3 本学の学生表彰制度一覧(H25.7月現在)
- 資料 2-1 平成25年度実施事業進捗状況一覧
- 資料 2-2 平成25年度事業進捗状況報告書
- 資料 2-3 平成25年度収支決算見込み
- 資料 3-1 平成25年度校友会事業の審議状況(抜粋)
- 資料 3-2 平成25年度校友会事業計画(H25.6.11理事会承認)
- 資料 3-3 平成25年度校友会収支予算書(H25.6.11理事会承認)
- 資料 3-4 平成26年度予算概要 (イメージ)
- 資料 3-5 平成26年度校友会事業計画書(案)
- 資料 3-6 平成26年度校友会継続事業(案)
- 資料 4-1 小白川一飯田キャンパス間の通学用シャトルバスの運行について
- 資料 4-2 第2回各同窓会東京(関東)支部との情報交換会(議事概要)
- 資料 4-3 平成25年度山形大学OB・OGセミナー

[参考資料]

- 1 校友会専門委員会規程(H25.6.11一部改正)
- 2 校友会会則 (H25. 4.1 一部改正)
- 3 専門委員会第12回(H25.5.21)議事録
- 4 専門委員会第13回(H25.6.11)議事録
- 4 理事会第14回 (H25. 6.11) 議事録

[その他]

次 第

配付資料一覧

専門委員会委員一覧 (H26. 1.28 現在)